



Title	アメリカにおける「宗教と社会活動」研究の動向 : American Sociological Review ・ American Journal of Sociology ・ Journal for the Scientific Study of Religion ・ Review of Religious Research ・ Sociology of Religion のレビューを通じて
Author(s)	寺沢, 重法
Citation	「宗教と社会貢献」研究会第1回研究会（國學院大学） この研究会報告要旨は「宗教と社会貢献」研究会，公式ホームページで公開されている
Issue Date	2011-11-26
Doc URL	<a href="http://hdl.handle.net/2115/48295">http://hdl.handle.net/2115/48295</a>
Type	lecture
File Information	terazawa_2011NOV26.pdf



[Instructions for use](#)

アメリカにおける「宗教と社会活動」研究の動向  
—*American Sociological Review*・*American Journal of Sociology*・  
*Journal for the Scientific Study of Religion*・*Review of Religious Research*・  
*Sociology of Religion* のレビューを通じて—

北海道大学大学院博士後期課程3年  
日本学術振興会特別研究員  
寺沢 重法(shterazawa@yahoo.co.jp)

要旨

発表の目的は、アメリカにおける「宗教と社会活動」研究のレビューを通じて、その動向を把握し、その上で本稿の分析デザインを確定するとともに今後の研究課題を検討することである。

まず、レビューに先立ち、アメリカで「宗教と社会活動」研究が盛んに行われている背景として、1)「宗教とその他の社会的領域」に関する研究の拡大、2)計量社会学の発展、3)チャリタブル・チョイス規定の制定、4)Putnamの“*Bowling Alone*”の出版を指摘した。

このような背景を踏まえた上でレビューを行なった。レビュー対象は、1996年から2011年6月の期間に1) *American Sociological Review*, 2) *American Journal of Sociology*, 3) *Journal for the Scientific Study of Religion*, 4) *Review of Religious Research*, 5) *Sociology of Religion* に掲載された実証的雑誌論文28本である。

知見は以下の通りである。1) 個人の社会活動に関する論文については、ボランティア組織への所属や社会活動・ボランティア活動への参加という側面に関心が向いていること、宗教属性、宗教施設・団体へのコミットメント、宗教意識にもとづきながら説明しようとしていること、そして対象地域については、アメリカの研究とプールデータを用いた国際比較分析という2つの山があることが指摘できる。方法論の点からは、量的研究から行おうとしていること、多変量解析、特に回帰分析系の分析が中心であり、しかも新しい分析手法を用いられていることが指摘できる。データについては、2次データ指向であること、クロスセクション・データを用いていること、数千から数万ケースを扱っていること、問題探索型研究と仮説検証型研究の両方が行われていることが指摘できる。

2) 団体の社会活動に関する論文については、チャリタブル・チョイスへの対応や評価、団体で行われている社会活動の領域を中心に様々なトピックが扱われていること、複数のタイプの団体の比較に関心が向いていること、アメリカを対象としていることが指摘できる。方法論の点からは、質的研究と量的研究の両方が行われていること、回帰分析を中心とする多変量解析が用いられるとともに、比較的シンプルな分析手法も用いられていること、1次データ指向であること、クロスセクション・データを用いていること、100人以下のケースを扱う場合が多いこと、問題探索型研究が行われる傾向にあることが確認された。

以上のレビュー結果を踏まえ、今後、日本における「宗教と社会活動」研究を進める上で、1) 非キリスト教社会・非欧米社会における宗教と社会活動の関係の議論に位置づけること、2) 個人の宗教と社会活動への参加に焦点を当てること、3) 計量社会学的研究を行うこと、4) 社会活動を促進する場としての宗教施設（「一般的な宗教施設」）に着目すること、の4点が必要であることを指摘した。